評価時点 ［令和7年（2025年）1月］

令和7年度（2025年度）事業分　公共事業事前評価調書

評価調書作成者 [砂防課長　堤 哲也]

事業プロフィール

【 事業概要 】

事 業 名	佐敷川防災・安全交付金（火山砂防）事業
事業箇所	葦北郡芦北町八幡他
事業担当課（室）	土木部　河川港湾局　砂防課 （砂防班　内線53946）
事業期間	令和7年度～令和36年度 （30年間）
総事業費	6，755百万円 （うち県費3，039百万円）
事業内容	砂防堰堤17基、渓流保全工925m
事業目的	佐敷川は八代海に注ぐ二級河川であり、R2.7豪雨により崩壊・土石流とともに土砂・洪水氾濫が発生した。これにより、対象流域内の5か所（桑原地区・川内地区・市野瀬地区・大野地区・國見地区）で氾濫区域が確認されている。また、本流域は「土砂・洪水氾濫による大きな被害の恐れのある流域の抽出調査」（以下「流域調査」という。）において、危険性の高い流域として抽出されており、今後の豪雨等により再び土砂洪水氾濫が発生する危険性がある。このため、砂防堰堤等を施工し土砂・洪水氾濫を未然に防止するものである。

【 現況写真 】

保全対象写真（人家、道路）

荒廃状況

【 検討状況 】

技術的難易度	一般的な技術で対応できる。
費用便益比	B／C ＝ 1.18
事業比較 （事業を実施しない場合や代替案を含めて事業実施についての比較検討を行った内容（ソフト対策も含む））	事業を行わない場合、土石流発生時に下流域の人家34戸へ被害が発生する恐れがある。 また、県道古石天月線等への被害が懸念され、地域住民の生活に支障を及ぼす。
ユニバーサルデザインへの配慮事項・内容	特になし。
関係法令等の手続き の把握・完了状況	特になし。

【 周辺状況 】

関連事業	特になし。
市町村、地元の状況	特になし。
説明会の開催状況と関係者の意向	事業着手後に地元説明会を開催予定。

【 環境影響 】

① 緑・自然生態系への配慮

	環 境 配 慮 事 項	該当地域の有無等
1	希少な野生動植物や特定植物群落などの生息や生育地域及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	生態系の保全に重要な湿地、湿原、干潟又は藻場は存在しないか。	無
3	気候緩和、防災や景観保全機能に重要な役割を持つ森林、草原、街路樹等の緑資源が存在しないか。	無

② 地形・自然景観への配慮

	環 境 配 慮 事 項	該当地域の有無等
1	自然景観資源、特異な地形・地質・自然現象等の優れた自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	湧水、滝・渓谷、自然海岸など希少な自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
3	自然地形の改変（切土、盛土）、構造物の設置、緑化等を実施する際の配慮を要する地域に該当しないか。	無

③ 水資源への配慮

	環 境 配 慮 事 項	該当地域の有無等
1	水量、水質の保全に重大な影響を及ぼす水道水源等の上流域に該当しないか。	無
2	河川、海域、地下水等を汚染するおそれのある地域に該当しないか。	無
3	地下水量あるいは地下水かん養量を減ずるおそれのある地域に該当しないか。	無

④ 生活環境への配慮

	環 境 配 慮 事 項	該当地域の有無等
1	史跡・名勝・天然記念物、歴史的建造物、町並み等有形の文化財及び埋蔵文化財等への配慮を要する地域に該当しないか。	無
2	大気汚染、騒音、振動、悪臭への配慮を要する地域に該当しないか。	無
3	周辺地域への日照障害、電波障害、光害や風害の防止への配慮を要する地域に該当しないか。	無
4	住宅地や集落地などの地域コミュニティ分断への配慮を要する地域に該当しないか。	無
5	水辺へのアプローチの確保と親水空間の創出に配慮を要する地域に該当しないか。	無

事業評価

:共通指標

【 事業評価表 】

評価軸	評価項目	配点	評点
重要性	① 事業計画の位置付け	5	5
	② 市町村合併支援	5	0
	小　計	10	5
必要性	③ 特定地域振興	5	4
	④住家、要配慮者利用施設等の保全	25	20
	⑤交通体系の保全	10	5
	⑥土石流により流下する土石等の量	10	10
	小　計	50	39
緊急性	⑦土砂災害特別警戒区域内の保全人家戸数	20	20
	小　計	20	20
効率性	⑪ 費用便益比（B／C）	20	12
	小　計	20	12
合　計		100	76